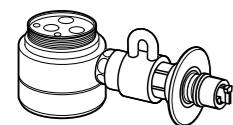


パナソニック (株)
Panasonic 製のシングルレバー式(デッキタイプ)に

食器洗い乾燥機専用

給水・給湯兼用



シングル分岐 CB-SPB8 の取り付け方

※取り付ける前に、必ず裏面の『施工・使用に関する安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しく取付・使用を行ってください。

●凍結の恐れのある所への設置はお避けください。
水漏れの恐れがあります。
●給水圧力0.6MPa(6kgf/cm²)以上ある場合は市販減圧弁にて0.2MPa(2kgf/cm²)程度に減圧してください。

代表機種
○○ FS327・○○ FS327T7
(○○は VJ・QS・LE・SI・QM などの
キッチンシリーズを示す英字が入ります。)

分岐水栓に関するお問い合わせは
サポートセンター 電話 大阪 06 (6974) 7033
E-Mail support@naniwa-ss.co.jp
●水栓メーカーへのお問い合わせはご遠慮ください。
お問い合わせは上記サポートセンターまでご連絡ください。

製造元
株式会社ナニワ製作所
〒537-0002
大阪市東成区深江南2丁目5番4号
電話 大阪 06 (6974) 7100

給水の場合は手順通りに取り付けを行ってください。
給湯の場合は裏面の交換方法をよくお読みの上、手などにケガ等をする恐れがありますので、十分注意して取り付け、部品の組み替え作業を行ってください。

●記載しているイラスト(水栓)は、代表機種であり他の機種とは多少、外観と分解が異なる場合がありますので十分注意して取り付けを行ってください。

(注) 取り付ける前にハブにはり付けている表示シールを確認してください。

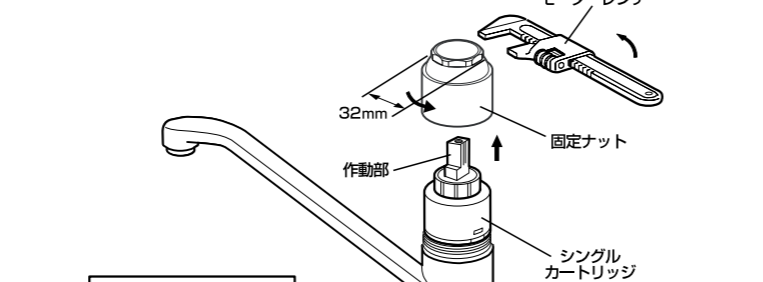
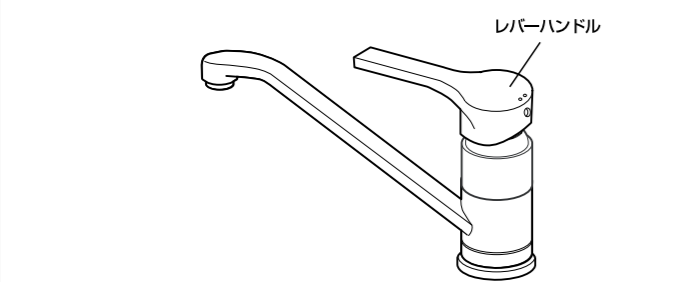
表示…CB-SPB8 黒色
表示シール
ハブ

●分岐水栓の取り付けには次の工具が必要となります。事前にご準備ください。

モーターレンチ
モンキーレンチ
六角レンチ (対辺2.5mm)
ラジオペンチ (※給湯仕様に変更時のみ)

1. まず、水道メーターの止水栓またはバルブを閉じる。

3. 固定ナットを取り外す。



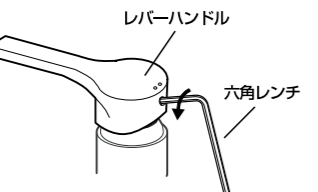
水栓から水が出ない事を確認してから下記の要領にしたがって、作業を行ってください。



カバーナットをゆるめるときに本体が回る場合がありますので、回さないように注意してください。

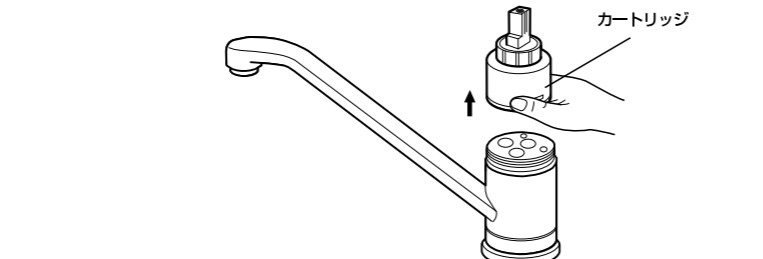
2. レバーハンドルを取り外す。

レバーハンドル後方の穴の奥にある六角穴付き止めねじを六角レンチ(対辺2.5mm)で、レバーハンドルを取り外せるところまで止めねじを緩める。



4. カートリッジを取り外す。

カートリッジの外周を持ち、上に持ち上げるようにして取り外す。

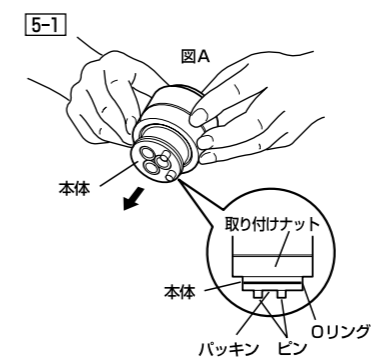


(ご注意: 取り外した六角穴付き止めねじは紛失しないでください。)

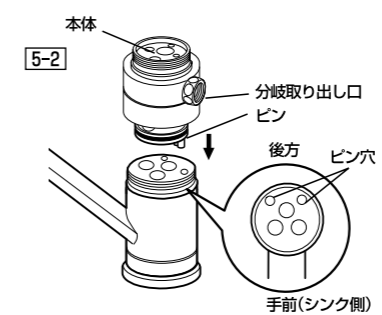
(お願い: カートリッジの下部にパッキンが付いていることをお確かめください。(1個))

5. シングル分岐を取り付ける。

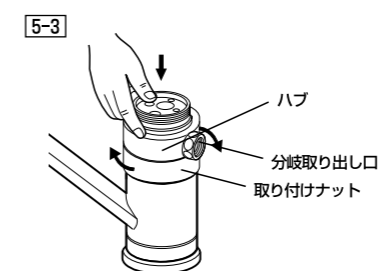
手順
5-1: シングル分岐の本体を(図A)のようにハブから本体が抜け出ない程度に押し出す。(注意1)
(シングル分岐本体を押し出す際に、本体がハブより抜け落ちる場合がございます。厚めのタオル、もしくは厚めのゴム板の上で行って頂き、転げ落ちない場所で作業を行ってください。キッチン、床、シングル分岐の破損または足の上などに落ちますと大きなケガに繋がるおそれもございます。)



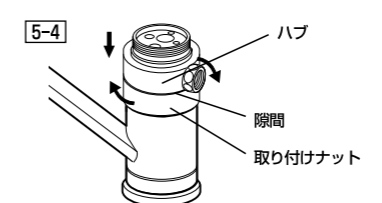
5-2: シングル分岐のピン(凸)を後方にし、シングル分岐のピン(凸)と水栓本体のピン穴(凹)が合うように、ピンをはめ込む。



5-3: シングル分岐本体を上から手で押さえ込みながら、取り付けナットが水栓のネジ部にかかるところまでハブをゆっくりと下げていく。
取り付けナットを水栓ネジ部に1~2回転しめ込んだ後、分岐取り出し口の方向(左・右)をハブを回して決める。(注意2)
決めた位置で固定しながら再度取り付けナットを水栓ネジ部に1~2回転しめ込んでください。



5-4: ハブを上から押し下げて頂くとハブと取り付けナットの隙間が無くなります。隙間が無くなった後に取り付けナットを手締めにて締まるまで締め込む。(2~4回転)
(ハブと取り付けナットの間に2mm~3mmの隙間ができますが、施工上問題ありません。)



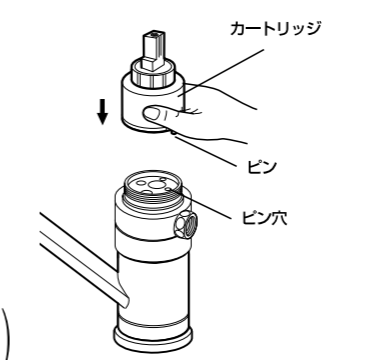
(お願い: シングル分岐の下部のパッキンが付いていることを確かめてください。(1個))

(注意1: 取り付け時にシングル分岐本体を上下に動かす場合は、ゆっくりと動かしてください。シングル分岐本体に取り付けられているパッキンが破損し、水漏れする恐れがあります。)

(注意2: ピン(凸)がピン穴(凹)にはめ込まれていない場合、ハブを回したときにシングル分岐本体と一緒に回ってしまいます。再度、5-1から行ってください。)

6. カートリッジを取り付ける。

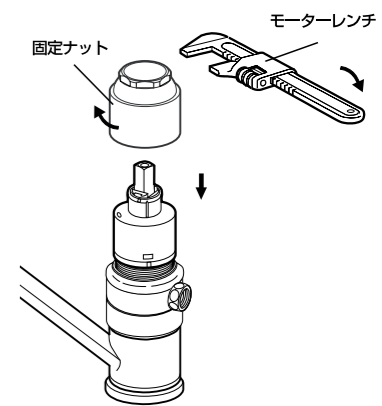
カートリッジの外周を手で持ち、カートリッジのピン(凸)とシングル分岐のピン穴(凹)とが合うように、はめ込む。



(お願い: カートリッジの下部にパッキンが付いていることをお確かめください。(1個))

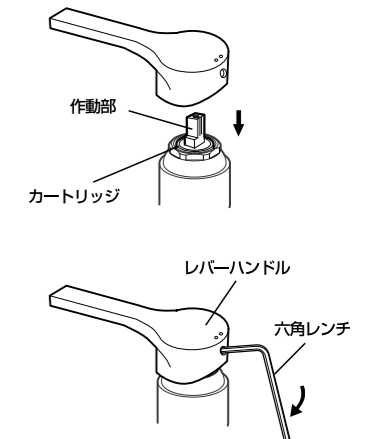
7. 固定ナットを取り付ける。

シングル分岐のネジ部に固定ナットを時計方向に回してねじ込み、モーターレンチ等で締め付ける。



8. レバーハンドルを取り付ける。

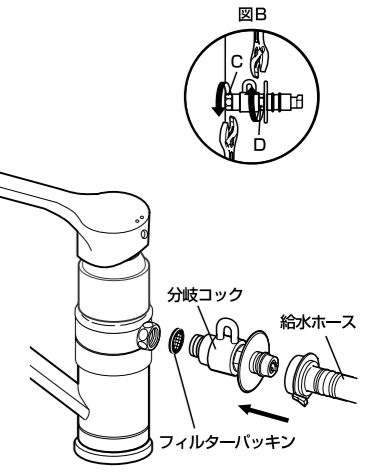
カートリッジの作動部にレバーハンドルを差し込み、六角レンチ(対辺2.5mm)にて止めねじを固定する。



9. 分岐接続を行う。

注意: 下記の手順を行う前に接続する側の機器に給水ホース接続を行っているか確認してください。

手順
9-1: 分岐コックの保護キャップを取り外し、シングル分岐の取り出し口にフィルター付パッキンと一緒に取り付け。



(取り付け方) 図Bのように分岐水栓(C部)と分岐コック(D部)にモンキーレンチを掛け、しっかり締め付ける。

9-2: 分岐コックのレバーを「とじる」側に操作を行う。

9-3: 分岐コックに給水ホースを接続する。
給水ホースを接続したあと、止水栓またはバルブの開放を行ってください。
(接続する前に分岐コックのレバーを「ひらく」側で止水栓またはバルブを開放した場合、給水ホースが差し込めなくなる場合があります。その場合は裏面の給水ホース接続方法の手順にしたがって取り付けを行ってください。)

分岐コックの開閉操作(ひらく・とじる)をして締め付けた部分がゆるまないか確認してください。

取り付け作業終了後、水栓本体及び分岐各部からの水漏れがないか、特に注意して確認してください。

施工に関する安全上のご注意

- 施工する前に、この「施工に関する安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
- ここに示した[△]注意は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に動作するかを確認の上、使用方法をお客様に説明してください。
- この説明書は、お客様へ保管していただくように依頼してください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない禁止の表示です
	行為を強制する表示です
	分解してはいけない表示です

△ 注意	
	●凍結の恐れのある所への設置はお避けください。 ※水漏れの恐れがあります。
	●施工前後に止水栓またはバルブの開放状態のまま分岐水栓・水栓金具等の分解・取り外すような行為は行わないでください。※傷害・物損・故障・水漏れ等の恐れがあります。
	●分岐水栓および同梱されている分岐コックは絶対に分解しないでください。 ※故障・破損・水漏れの恐れがあります。
	●止水栓またはバルブの開放は必ず分岐コックに給水ホースを接続した後、行ってください。
	●水栓金具のセラミックバルブは落としたり、分解しないでください。 ※水漏れ・取り付けができなくなる恐れがあります。
	●カートリッジ・カバーナット・カートリッジ押さえを取り外し、取り付けを行う時には必ず水栓本体が回っていたり、配管がねじれていない事を確認してください。 ※破損・水漏れの恐れがあります。
	●分岐水栓を取り付ける場合、必ず専用の工具等を使って取り付けてください。 ※専用の工具以外で、取り付けされると傷をつける場合があります。
	●分岐水栓取り付け完了後、水栓本体と分岐水栓との間から水漏れが無いかよく確認してください。
	●分岐水栓の改造・仕様変更は行わないでください。 ※分岐水栓・食器洗い機等の故障につながる恐れがあります。
	●浄水器・アルカリイオン整水器をご利用の際には、機器の吐水口と排水ホース口は必ずシンク内に向けてください。※漏水し家財等に損害が生じる恐れがあります。
	●分岐コックは消耗品です。長時間または長期間の不在をされる場合、止水栓または元栓を閉めてください。 ※漏水し家財等に損害が生じる恐れがあります。※防火設備または自動で給水が必要とされる機器に直結している場合、元栓は閉じずに分岐水栓が取り付けられている水栓金具のみが止水できる止水栓のみ閉じてください。
	●井戸水・工業用水または飲料に適しない水等に使用された場合、本品の破損・家財の損害が生じる恐れがあります。
	●お客様の配管設備等により本品を取り付けることで音鳴りが発生する場合があります。流量等を絞って調整頂くと改善する場合がありますが、改善しない場合もあります。
	●水栓金具に水垢または油脂等が固着し分解が困難な場合があります。水栓金具メーカーとご相談ください。 ※無理に分解しますと水栓金具の破損・水漏れの原因となります。

給水仕様から給湯仕様への変更方法

※出荷時は水が出るようになっています。お湯をご使用になる場合は以下の手順で行ってください。（水をご使用になる場合はそのままお使いください）

分岐水栓パーツ分解（変換）時、内面及び表面又はパッキン等に傷を付けないでください。
※水漏れの恐れがあります。

手順1	手順2	手順3
<p>シングル分岐水栓の外周（ハブ・取り付けナット）を手で持ち、シングル分岐の本体を上から下へゆっくり押し出す。（注意1）</p>	<p>2-1: ラジオペンチでプラグを取り外す。（注意2）</p> <p>2-2: 抜き取ったプラグを水側（シングル分岐の本体側面に刻印のない方）に差し込む。（注意3）</p>	<p>シングル分岐水栓の外周（ハブ・取り付けナット）を手で持ち、シングル分岐の本体を下からゆっくり挿入する。（注意1）</p>

- 注意1:** 変換時にシングル分岐本体を上下に動かす場合、ゆっくりと動かしてください。シングル分岐本体に取り付けているパッキンが損傷し、水漏れする恐れがあります。
- 注意2:** 取り出したプラグを紛失しないようにしてください。
- 注意3:** 差し込む方向を間違えないようにしてください。

	プラグに取り付けているパッキンは取り外さないでください。（紛失すると施工ができなくなる恐れがあります。）
	接続する食器洗い乾燥機が、給湯接続か給水接続か仕様を確認してご使用ください。※仕様の異なる機器を接続すると故障の原因となります。
	手などにケガをする恐れがあります。十分注意して取り付け、部品の組み替え作業を行ってください。
	食洗機の耐熱温度以上に設定された給湯器をご使用の場合は、必ず給水接続でご使用ください。※食器洗い乾燥機の故障の原因となります。
	変換を行われた場合、食器洗い乾燥機を使用すると水栓金具と分岐水栓が熱くなります。やけどの恐れがあります。ご注意ください。

給水ホース接続方法

（使用中、給水ホースが外れた場合の再接続手順です）

※使用中に給水ホースがはずれた場合、緊急止水弁で水漏れを防ぎます。この時に緊急止水弁に水圧がかかり動かない場合があります。下記の手順にて水圧を抜いてください。

手順1	手順2	手順3
<p>分岐コックのレバーをとじる側に操作を行ってください。</p>	<p>タオルで分岐コックすべてを包み緊急止水弁のA部を図1のように動かしてください。 ※この時、分岐コック内部に残っている水が少量出ます。衣服・家財などが濡れる場合があります。ご注意ください。 ※給湯接続の場合、熱湯がでる恐れがあります。ご注意ください。</p>	<p>給水ホースを分岐コックに取り付けた後、分岐コックのレバー操作をひらく側に操作を行ってください。</p>